

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月28日更新

事務事業名		環境保全審議会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	総務部		
	施策	9	住環境の充実			所属課	環境衛生課		
	基本事業	23	環境衛生の充実			所属班	環境衛生班		
課長名	担当者名		(内線)		課長名	1142			
予算科目	会計一般	款4	項1	目7	事業連番10117	法令根拠	合志市環境保全審議会条例		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度					
		成果優先度評価結果		⑫		コスト削減優先度評価結果		⑥	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	昭和59年、旧合志町において、水質や大気汚染への対策として、協定が結ばれたことを受けて、それを検証する組織として設置された。環境保全審議会(委員15名以内の組織)の開催(市長の諮問に応じ、環境保全に関する基本事項を調査審議する)
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	開催通知、審議会の開催、各種検査結果の報告、年報酬・費用弁償支払い事務
【主な予算費目】	報酬、旅費、役務費
【意見や要望】	委員や議会より、河川事故・地下水汚染等が発生したら迅速に情報公開するよう指摘されている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
議会開催通知、審議会開催、各種検査結果の報告、年報酬・費用弁償支払い事務審議会の開催 2回(6月27日・3月22日) 委員数 15名(15名参加)	議会開催通知、審議会開催、各種検査結果の報告、年報酬・費用弁償支払い事務審議会の開催予定 1回 委員数 15名
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア: 開催回数	回
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
環境保全審議会委員	→ア: 環境保全審議会委員数 (単位) 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
目的に沿って審議会が開催される	→ア: 事故無く開催された審議会の割合 (単位) %
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
審議会が事故無く開催されることは、審議会の目的である環境保全に繋がることから、成果指標を「事故無く開催された審議会の割合」とし、目標値は事故無く開催されることが重要であるため「100%」と設定した。	
総トータルコスト全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
①活動指標	ア	回	1	1	2	2	1	1	1	1	
②対象指標	ア	人	15	15	20	15	15	15	15	15	
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	71	79	91	144	91	91	91	91
		(A)事業費計	千円	71	79	91	144	91	91	91	91
		(A)のうち指定経費	千円	0	48	56	89	56	56	56	56
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	5	7	5	6	6	6	6
人件費	延べ業務時間	時間	122	280	160	290	140	140	140	140	
	(B)人件費計	千円	485	1,153	659	1,171	576	576	576	576	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	556	1,232	750	1,315	667	667	667	667	

事務事業名	環境保全審議会運営事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 事故無く開催されるように努める。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 定期的な会議開催であるため、成果の向上余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は報酬であり削減余地なし。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 会議開催通知・資料作成・会議開催の業務時間であり削減は困難。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内全域に関しての審議会であり公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 環境保全審議会は、学識経験者、企業及び団体の代表者、住民代表者で構成されており、審議会の運営は市が行うものであり適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

23年度は6/27に臨時の審議会を開催した。また、24年3月に通常の審議会を開催する予定。委員数 15名(15名参加)近年、環境問題に対する取組みの重要性は強まっており、環境保全の審議が深まるように努める。また、24年度は原則、会議の開催は年1回としているが、緊急の事故等がある場合は、臨時で開催し、内容の報告を併せ、対応について審議していただく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>合志市に立地する有害物質を使用する企業に対して、有害物質の適正管理について、強力をお願いしていく。進出する企業とは、操業形態如何に関わらず、環境保全協定について協議する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>特になし</p>																						